

管内	市町村	学校名
球磨	人吉市	人吉市立第一中学校

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
<p>宣言</p>		<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 廃油、アルミ缶を1年間集めます。（ボランティア委員） ② ペットボトルのキャップを1年間集めます。（ボランティア委員） ③ 清掃時はバケツを使います。（各学級） ④ 教室を使わない時は照明やエアコンのスイッチを切ります。（各学級） ⑤ 学校の花壇を整備し、花を増やします。（エコスクールライフ委員） <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ❶ 両面の印刷及び反古（ほご）紙の裏面利用を進め、紙の消費を抑えます。 ❷ ごみの分別、リサイクル、リユースに努めます。 ❸ 冷暖房機器の使用について担当を決め、節約を促進します。
<p>行動</p>	 <p>写真1</p>  <p>写真2</p>  <p>写真3</p>  <p>写真4</p>	<p>廃油やペットボトルキャップなどの回収</p> <p>ボランティア委員によるリサイクルデイの取組として、週に2日、朝から廃油・空き缶の回収活動を行っている。また、ペットボトルキャップは、各教室に回収BOXを設置し、委員会活動時に全教室から回収作業（写真1）を行っている。さらに、各クラスの回収状況を一覧表にし、教室に掲示したり、ボランティア委員による呼びかけを行ったりするなど、キャップ回収に対する意識を高めるようにした。</p> <p>節水</p> <p>清掃時には、節水のためにバケツを使用するようにしている。バケツ使用については、年度初めに美化委員が説明をしている。バケツ使用（写真2）は、全校に定着してきている。1階の掃除場所では、清掃時に使ったバケツの水を花壇に散布し、再利用している。</p> <p>節電</p> <p>日直や教科係の仕事として、移動教室時の教室の消灯（写真3）に努めている。また、係が忘れても気づいた生徒が消す習慣が定着するように、消灯を呼びかける掲示物を各教室に貼っている。さらに今年は、美化委員会の取組として、掃除中の消灯、エアコンのスイッチオフの徹底に取り組んだ。また、グリーンカーテン（写真4）の設置により、夏場の教室内の環境改善や冷房の使用量抑制を図ったり、晴天時の職員室・事務室の電灯使用を半分にしたりしている。</p>



写真5



写真6



写真7

紙のリサイクル

印刷室では、種類／サイズ／未使用／再利用などによって、紙の置き場所を分け、無駄のない紙の使用や裏紙の再利用を推進している。職員配付用の書類に、反古紙を使ったり、両面済みの紙はサイズ別に回収してリサイクルに出している。また、ボランティア委員会では、教室に紙ごみBOXを設置(写真5)している。委員会活動時に古紙を回収し(写真6)、サイズごとに分けて、リサイクルに出している。

ごみの分別・リサイクル

空き缶などの資源ごみは分別回収箱(写真7)で回収したり、個人のごみは持ち帰るように職員への連絡を行ったりするなど、無駄なごみを出さないように呼びかけている。

花壇の整備

エコスクールライフ委員を中心に除草作業に取り組んだ。また、掃除中にも花壇担当の生徒たちで、除草作業を行い、花壇をきれいな状態に保つようにした。

記録



写真8



写真9

廃油やペットボトルなどの回収

○回収状況の掲示やボランティア委員による呼びかけ等により、各クラスのキャップ回収(写真8)への意識を高めることができた。

○今年度は、文化祭時に生徒会執行部によるペットボトルキャップ回収の呼びかけ(写真9)を行った。文化祭では弁当やお茶の販売があり、昨年度までは燃えるごみになっていたキャップを回収することができた。

○時期的な変動はあるものの、継続して回収することができた。
△学級通信での発信やクラス内での呼びかけは定期的に行っているが、より多くの生徒への啓発を継続的にやりたい。

節水

○清掃時のバケツ使用が定着してきている。
○美化委員による呼びかけによって、流し掃除時の水の流しっぱなしの姿が減ってきている。

○数値目標である3%減を達成し、7%減少させることができた。

※4月に使用料が多いのは、プールの給水を行ったためである。

【月別水道使用量(m³)】

4月	5月	6月	7月	10月	11月	計	昨年度	前年度比
710	409	412	356	290	274	2710	2908	-0.07

(7%減)



写真10

節電

○生徒たちの意識が高まるにつれて、月を追うごとに減少している。
 ○数値目標である3%減を達成し、5%減少させることができた。
 ○職員室内の印刷室は、昨年度まで電気をつけたままであったが、職員への呼びかけや掲示等（写真10）により改善を図ることができた。
 △冬場の使用料は昨年度よりも少ないが、春から夏場の使用料は、昨年よりも多いので、来年度は夏場の使用料を減らしたい。

【電気使用量(kwh)】 ※太陽光充電分を引いた量

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計	昨年度	前年度比
7649	9076	12750	8938	9825	90070	95280	-0.05	(5%減)		

紙のリサイクル

○昨年度よりも紙類購入量を減らすことができた。
 ○職員の意識次第では更なる削減ができると考えられる。今後も積極的に呼びかけを行っていきたい。
 △ポスター関係や大きなサイズの紙をそのままごみ箱に捨ててあることがあり、紙のリサイクルについてはさらに職員間で共通理解していく必要があると感じた。

【紙類購入量(枚)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	昨年度	前年度比
A4	112	61	111	56	752	75	4904	652	25%減
A3	0	0	6	0	6	0	12	33	64%減
B5	10	0	10	0	10	0	30	60	50%減
B4	25	0	15	10	31	0	81	124	35%減

ごみの分別・リサイクル

○ごみの分別については、定着している。
 △年度末のごみ出しで、各部活動から出たごみの出し方が良くないことがあった。普段はあまり分別をする機会がないが、大掃除の時期などは生徒達への分別の仕方について、指導が必要である。

花壇の整備

○除草作業は、生徒により定期的に行うことができ、花壇をきれいな状態に保つことができた。
 ○委員会の活動ではないが、夏と秋に PTA 親子美化作業を実施し、保護者と生徒、職員で協力して学校の美化に努めることができた。
 △本年度も花植えは、用務員が行うことが多く、生徒の活動を取り入れることができなかった。

見直し	<p style="text-align: center;">重点的に見直しが必要な事項</p> <p>①廃油やペットボトル キャップなどの回収</p> <p>②紙のリサイクル</p> <p>③花壇の整備</p>	<p>①廃油やペットボトルなどの回収については、ボランティア委員会の活動として、昼の放送の呼びかけや、生徒集会での定期的な呼びかけ、各学級での啓発活動などの取組をさらに強化していけるようにしたい。</p> <p>また、今年度は年度初めにボランティア委員会によるキャップ回収の取組について全校に周知することができた。しかし、年度当初のみの周知だったため、定期的にキャップ回収がどのように生かされていくのか、何に役立つのかについて、定期的な発信が必要である。</p> <p>②紙のリサイクルについては、職員会議や朝の連絡票などを用いて、定期的に使用状況などについて発信していきたい。また、職員の紙のリサイクルについては、リサイクル BOX を活用する姿も増えたが、職員室のごみ箱に大きなサイズの紙が捨てられていることも多いため、どのような紙をリサイクルするのかを職員へ周知していきたい。また、職員室内にリサイクル BOX を設置することも検討していきたい。</p> <p>③花壇整備については、エコスクールライフ委員会での花植え活動を考えていたが、実施することは難しかった。花植えについては、どの委員会で活動するのか、職員間での検討が必要である。また、宣言目標を見直し、学校内の除草作業や清掃活動に力を入れるという方向性でもよいのではないかと考えた。学校内でよく検討し、生徒たちが自分たちで学校の環境をよりよくできるようにしたい。</p>
-----	--	---

2 成果と課題

成果	課題
<p>○ペットボトル等の回収については、年間を通して継続することができた。</p> <p>○節水・節電については、数値目標を達成することができた。生徒たちの取組への意識が高まっていると考えられる。今後も、取組を継続し、限りある資源を大切にできるような意識を高めたい。</p> <p>○印刷用紙使用量の削減では、全体的に削減させることができた。</p>	<p>△ペットボトル等の回収では、生徒に取組の差が出ている。活動がマンネリ化しないよう、継続的な取組に加え、呼びかけの方法を工夫する必要がある。</p> <p>△紙の使用量削減では、全体量としては削減できた。職員へ使用状況を定期的に伝え、削減への意識を高めていきたい。また、事務室と連携し、紙の購入状況等を定期的に確認し、職員への周知を図っていきたい。</p> <p>△紙のリサイクルの徹底ができていないため、職員の意識改善を図る取組が必要だと感じた。</p> <p>△花壇の整備は、除草作業で精一杯で、エコスクールライフ委員が花を植える活動を行うことは難しかった。用務員や担当職員と話し合い、委員会活動の在り方を見直していきたい。</p>